

社会資本総合整備計画 事後評価書

審議資料-2

計画の名称	神戸市の市街地における安全・安心のまちづくり（その2）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	神戸市
計画の目標			

神戸市の市街地で、市街地再開発事業による交通結節機能を含めた生活利便性の向上や災害に強い市街地の形成により、安全・安心のまちづくりを目指す。
また、居住環境の向上及び都市基盤整備を図るとともに、地域の活性化を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・新長田駅南地区市街地再開発事業区域内での人口を増加させることにより、災害に強く、にぎわいのある街づくりを目指す。
- ・鈴蘭台駅前地区市街地再開発事業によって共同化ビルを建設することにより、駅前店舗等の変更や新たな機能の導入を図り、鈴蘭台駅周辺を含めた地域の活力とにぎわいを高める。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
	(H27当初)	(H29末)	(H31末)							
① 新長田駅南地区市街地再開発事業区域内における人口を住民基本台帳により調査する。	5854人	6054人	6054人							
② 鈴蘭台周辺の商業地域における全延床面積の増減を調査する。	134500㎡	134500㎡	157300㎡							
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,023百万円	A	8,023百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和2年度 神戸市建設事業外部評価委員会	2020/ /
	公表の方法
	神戸市ホームページに記載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
A13-001	再開発	一般	神戸市	直接	神戸市	新長田駅南地区市街地再開発事業	市街地再開発 A=19.9ha	神戸市						2,160	
A13-002	再開発	一般	神戸市	直接	神戸市	鈴蘭台駅前地区市街地再開発事業	市街地再開発 A=1.1ha	神戸市						2,893	
A13-003	街路	一般	神戸市	直接	神戸市	鈴蘭台幹線外1線	交通結節点改善 L=0.2km	神戸市						2,540	
A13-004	街路	一般	神戸市	直接	神戸市	鈴蘭台幹線外1線	現道拡幅 L=0.1km 神	神戸市						377	
A13-005	再開発	一般	神戸市	直接	神戸市	雲井通5・6丁目地区都市再開発支援事業	都市再開発支援 A=2.4ha	神戸市						5	
A13-006	再開発	一般	神戸市	直接	神戸市	三宮町1・2丁目地区都市再開発支援事業	都市再開発支援 A=8.4ha	神戸市						10	
A13-007	再開発	一般	神戸市	直接	神戸市	鈴蘭台駅北地区都市再生事業計画案作成事業	都市再生区画整理 A=8.5ha	神戸市						38	
小計												8,023			

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28		
合計													

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28		
合計													

番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する

交付対象事業の効果の発現状況

- ・事業区域内で特定建築者による再開発ビル建設が進み、新長田駅南地区では計画期間内に人口が増加したが、わずかに目標を下回った。
- ・鈴蘭台駅前地区市街地再開発事業によって共同化ビルを建設することにより、駅前店舗等の更新や新たな機能の導入を図り、鈴蘭台駅周辺を含めた地域の活力とにぎわいの創出に繋がった。

II 定量的指標の達成状況

指標①（新長田駅南地区市街地再開発事業区域内における人口を住民基本台帳により調査）

最終目標値

6054人

目標値と実績値に差が出た要因

新規住宅供給（88戸）を行ったが、戸あたりの入居人数が想定を下回ったため。

最終実績値

6036人

指標②（鈴蘭台周辺の商業地域における全延床面積）

最終目標値

157,300㎡

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

157,300㎡

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

新長田駅南地区において、業務施設3棟が建設され、生活利便性や都市機能が増進した。特に、新長田合同庁舎（県市合同庁舎）の完成により、昼間人口が増加したことで地区の活性化と県民・市民サービスの向上が図られた。

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・新長田駅南地区市街地再開発事業は、引き続き社会資本整備総合交付金事業により、特定建築者制度を活用した良好な住宅の供給及び、昼間人口の増加に寄与する施設整備を行い、賑わいのある災害に強い安全・安心のまちづくりを進める。
- ・「鈴蘭台駅北地区都市再生事業計画作成事業」については、調査結果を踏まえ、令和3年度中の事業着手をめざし、協議・手続きを進めていく。